

令和2年度 岩手県産業教育振興会主催
「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」募集要項

- 1 主 催 岩手県産業教育振興会（公益財団法人産業教育振興中央会）
- 2 趣 旨 産業の各分野における急速な技術革新の進展に伴い、専門教育の充実に新たな期待が寄せられている。このため、専門高校に学ぶ生徒の自覚と学習意欲の高揚を図るとともに、専門教育に対する社会的な関心を高めることに役立てるよう、研究文・作文を募集し、表彰を行う。
- 3 応募資格 専門教育に関する学科・コース(専攻科を除く)に学ぶ高等学校の生徒であること。
- 4 内 容
 - (1) 研究文の部
 - ・個人またはグループによる専門教育に関する研究・実験・調査等の研究の成果をまとめたものであること。
 - ・未発表のものであること。
 - ・A4判縦型（1ページ22字×38行×2段・フォントサイズ10.5ポイント）8ページ以内とし、電子データで作成すること。
 - ・タイトル、学校名、学科名、学年、氏名は最初のページの頭に、横2段に通して10行分(左段10、右段10計20行分)に入れること（原稿1枚目のみ）。
 - ・写真・図表等がある場合、その分の余白（標準1段8行分）を取り、挿入箇所をご指定するか、原稿に直接貼り付けること。
 - (2) 作文の部
 - ・個人が現に学んでいる専門教育での体験について、感想・決意・抱負などを述べたものであること。
 - ・未発表のものであること。
 - ・A4判縦型（1ページ22字×38行×2段・フォントサイズ10.5ポイント）2ページ以内とし、電子データで作成すること。
 - ・タイトル、学校名、学科名、学年、氏名は、最初のページの頭に横2段に通して10行分(左段10、右段10計20行分)に入れること。（原稿1枚目のみ）
- ※ なお、研究文・作文とも未発表のものに限るが、今年度の県内の研究会等において発表したものについては、未発表として取扱うものとする。ただし、県代表として東北大会以上で発表したものは既発表として扱う。
- 5 応募方法
 - ・応募作品は学校所在地、学校名、学科名、学年、氏名を明記した表紙(研究文・作文とは別ファイル)とともに、メールの添付ファイルにより岩手県産業教育振興会あてに送信すること。
 - ・**応募作品のファイル容量が大きい場合は、複数のメールの添付ファイルを分割するか、CD等に記録して郵送すること。(Word・一太郎・EXCEL形式：PDFは不可)**
- 6 締切期日
令和2年8月28日（金）
 - ※ 産業教育振興中央会の締切が9月16日(水)となっていることから期限を厳守。

7 審査・推薦

- ・応募された作品は全て産業教育振興中央会に推薦する。ただし、産業教育振興中央会未加入校の作品を除く。
- ・岩手県産業教育振興会では産業教育振興中央会とは別に審査し、最優秀賞、優秀賞を決定し表彰する。
- ・審査の観点は次のとおりとする。
 - (1) 主題の設定が適切で高校生にふさわしいか。
 - (2) 計画が適切で綿密に進められているか。
 - (3) 記録が正確で資料が適切に使われているか。
 - (4) 内容が適切で創意工夫が見られるか。
 - (5) 結果のまとめが適切であるか。

8 審査結果の発表

審査の結果については、令和2年12月上旬までに、高等学校長あてに通知する。

9 表彰

- (1) 岩手県産業教育振興会では入選作品について、記念品を添えて次のとおり表彰する。
 - ア 最優秀賞 研究文・作文各1編
 - イ 優秀賞 研究文・作文各1編※ 研究文については担当した生徒全員を表彰する。
- (2) 産業教育振興中央会における入選作品の表彰は、次のとおりである。
 - ア 最優秀賞 研究文・作文各1編
 - イ 優秀賞 研究文・作文各2編
 - ウ 佳作 研究文・作文各5編
 - エ 経済同友会賞 研究文・作文各3編※ 研究文については学校表彰となる。

10 その他

- (1) 入選作品については、「事業活動報告書」を掲載する。
- (2) 作文については、校内で選考し、1校当り各学科3編以内で応募すること。